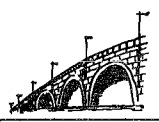


にいがた

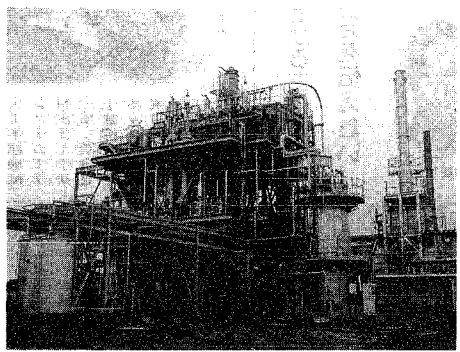


人口	486,001人 (+413)
男	236,248人 (+253)
女	249,753人 (+160)
世帯数	179,083 (+382)

住民基本台帳による。()は前月比

発行日 毎週日曜日 発行新潟市 印刷 総務部広報課 編集 総務部広報課

日本初の処理施設が完成 廃プラスチックを油化



プラスチックから再生油を作る新潟プラスチック油化センター

平成七年九月から平和町に建設が進められていた「新潟プラスチック油化センター」が完成し、十一月十二日に完工式が行われました。同センターは一般家庭から資源物として分別収集される多種類の廃プラスチックを油化リサイクルするもので、本格的な施設としては日本初。来年の本格操業を目指して、現在試験運転を行っています。

同センターは、市の委託 プラスチック処理促進協会により、市内の石油精製会社が通産省の補助金を受けて社とプラスチック処理の技術を進められました。敷地面積は一万九千六百

黒埼町で二合併シンプオ 市長が町民に推進訴え



合併推進を訴える長谷川市長(左)

黒埼町の町民が組織する黒埼町・新潟市合併推進協議会(置場和彰会長)によるシンプオジウムが、今月九日に黒埼町の農村環境改善センターで開催されました。

本市と黒埼町との合併問題を話し合う、任意の合併問題協議会(会長・長谷川市長)の七回目の会合が、二十五日に開催されます。同協議会は、両市町の行

平方メートル、分別収集された廃プラスチックは前処理施設で粉砕された後、油化施設で熱分解されたA重油相当の油に生まれ変わります。処理能力は年間約六千トンで、六千トンの廃プラスチックから約三千トンの油が作り出される見込みです。再生油は市水族館マリニピア日本海の自家発電用燃料など、市の公共施設で使用する予定です。

十一月十二日の完工式に出席した長谷川市長は「本市では資源循環型社会の構築に向け、これまで資源物回収を含めた六分別収集の実施、エコプラザの稼働、廃棄物条例の全面改正など体制づくりに積極的に取り組んできました。同施設の完成は、廃棄物行政の進展に新たな一歩を踏み出すも

「スポーツと音楽都市」記念音楽会「芸能功労者16人に感謝状」

第二十九回「スポーツと音楽都市」宣言記念功労者感謝状贈呈式が十一月十一日に行われました。感謝状の贈呈は同宣言を記念し、両市間に功績のあった人を顕彰しようというものです。今年には音楽・芸能部門八人、スポーツ部門八人の十

「新調プラスチック油化センター」は、前処理施設で粉砕された後、油化施設で熱分解されたA重油相当の油に生まれ変わります。処理能力は年間約六千トンで、六千トンの廃プラスチックから約三千トンの油が作り出される見込みです。再生油は市水族館マリニピア日本海の自家発電用燃料など、市の公共施設で使用する予定です。



街の真ん中で サケ漁

新潟の冬の訪れを告げる風物詩の一つに、信濃川のサケ漁があります。まちの中心部で、近代建築物を背景にサケ漁が見られるのも、新潟ならではの風景です。漁師たちは信濃川に小舟を浮かべて網を打ちます。市民文化館の建築現場の前でも、水しぶきとともにサケが上げられています。この漁はあす二十五日まで行われています。

筋道

看板工 野澤義夫さん (60歳、本町通1)



昭和二十六年から看板製作に携わり、今年で四十六年。昭和六十三年に「技能グランプリ」で優秀賞を獲得するなど技術は全国的に高く評価されている。

「新しいセンスやデザインのものに、何年かで大抵白しさを知った」といいますが、野澤さんは「看板屋は、技術も、当時は道具は手作大木を絵を描くものから、インクも硬く工夫が必要に付けたネームプレート、要だったそう。今まで作るよ、屋」と言う。現在はプラスチックに、いずれも長い間大事にさ、ペンキで塗り替えて作製したシールを張る方法に代表されるように、新しいシルクスクリンに変わるようになっている。魅せられて、作業工程も大きく変化。絵が好きで映画館の看板。影刻文字を扱える人も急減した。若い人に教える機会があれば、と精進め、た遊園地の壁の絵などを描いて作る職人の顔をのぞかせ、一方「弟子入り先で、ジ

六人に感謝状を贈りました。受賞者は次の通りです。(敬称略) 音楽・芸能部門 岩崎和香子(寺尾西三、琵琶)、大沼徳次郎(寺尾上四、民謡)、大日向正和(寺尾上五、能)、久須美俊夫(信濃町、音楽)、佐藤幸一(亀貝、詩吟)、千田稔(新津市、中学弓道)

校音楽、南雲純雄、関屋金衛町、童謡、山岸秀夫(東中野山六、合奏) スポーツ部門 間藤(関屋浜松町、ゲートボール)、工藤信昭(小針が丘、中学校体育)、小島勝治(小野道夫、関屋大川前、小学校体育)、齋藤三代吉(豊栄市、相撲)、高橋照占(豊田、バスケットボール)、中田フミ子(関屋松波町、水泳)、南場幸三(中山三、弓道)

市役所・市教育委員会	
☎228-1000 (代表)	
テニスガーデンにいがた	276-8900
園芸センター	286-1034
水道局	266-9311
市民病院	241-5151
東保健所	243-5311
石山地区保健センター	286-4450
鳥屋野地区保健センター	285-2373
北地区保健センター	259-7332
西保健所	266-5171
西地区保健センター	262-3405
坂井輪地区保健センター	260-3255
急患診療(市医師会・県歯科医師会)	
急患診療センター	228-2822
休日歯科診療センター	283-3030

果樹講座	
日時	11月26日午後1時半～3時半
会場	園芸センター 定員 先着50人
内容	家庭果樹のせん定
申し込み	きょう24日から電話で会場へ
エコプラザ リサイクル提供事業	
展示期間	12月3日～20日
公開抽選日	12月22日
申し込み	展示期間中(月曜日を除く午前9時～午後5時)に直接エコプラザ(下木戸3 ☎270-3009)で受け付け
健康講演会	
日時	11月30日午後1時半～3時半
会場	東地区公民館 定員 先着100人
演題	漢方ちよつといひ話～良い面、悪い面
講師	須永隆夫(木戸病院医師)
申し込み	会場 ☎241-4119へ

12月4日は午後1時開館